

0350 | 西洋美術史II

2 単位 (通信授業 2 単位)

北澤洋子教授、楠根圭子講師

授業の概要と目標

この授業では、西洋におけるルネサンスから現代に至る美術の歴史を学ぶ。具体的には、15世紀から20世紀までのさまざまな芸術の潮流や運動の特徴について、作家や作品に即しながら理解することを目的とする。とはいえ、芸術を独立した現象として捉えるのではなく、それぞれの芸術様式が独立した時代背景を考慮しつつ、その社会的な役割についても理解を深めたい。また、単に教科書や参考文献で得られた知識を整理・羅列することで満足するのではなく、自分自身の眼で画集の図版や実際の作品をじっくりと鑑賞することによって、それらの知識に肉づけをしていくことをも重視する。いわば知性と感性の両面から、西洋美術の流れを多角的に理解することを目指したい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書や参考書を踏まえて、特定の美術潮流とその時代背景について論述する。

○通信授業課題 2

受講者が実際に鑑賞した美術作品 1 点について記述を行なう。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の以下の該当部分を使用する。

第 3 章「近世」、第 4 章「近代」、第 5 章「現代」

成績評価の方法

◎科目試験

出題範囲は教科書の第 3～5 章とする (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：北澤洋子監修『西洋美術史』(武蔵野美術大学出版局 2006 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)

参考書：教科書巻末 (236～237 頁) の参考文献一覧を参照のこと。

インターネットで複製図版を参照するには下記のサイトが有用である。

Web Gallery of Art (<http://www.wga.hu/>)

その他

平素から近隣の美術館、展覧会等で多くの作品に接すること。